

## 随意契約結果及び契約の内容

業 務 の 名 称	令和5年度ダム施工合理化調査分析評価業務
業 務 概 要	計画準備、データ集計、データ整理・確認、データ統計処理、データ分析評価、ダム積算資料改定案等作成、ダム工事積算資料に関わる課題抽出及び対応方策案の検討、報告書作成
契約担当官等の氏名並びにその所属する部局の名称及び所在地	支出負担行為担当官 九州地方整備局長 森戸 義貴 福岡市博多区博多駅東2-10-7
契 約 年 月 日	令和 5年 7月12日
契 約 業 者 名	令和5年度ダム施工合理化調査分析評価業務ダム技術センター・日本振興設計
契 約 業 者 の 住 所	東京都台東区池之端2-9-7 池之端日殖ビル2F
契 約 金 額	47,839,000円(税込み)
予 定 価 格	47,872,000円(税込み)
随意契約によることとした理由	別紙の通り
業 務 場 所	福岡市博多区博多駅東2丁目10番7号
業 種 区 分	土木関係建設コンサルタント業務
履 行 期 間 (自)	令和 5年 7月13日
履 行 期 間 (至)	令和 6年 3月15日
備 考	

## 契約理由書

1. 業務件名 令和5年度ダム施工合理化調査分析評価業務
2. 履行場所 福岡市博多区博多駅東2丁目10番7号
3. 契約の相手方 住所：東京都台東区池之端2丁目9番7号池之端日殖ビル2階  
会社名：令和5年度ダム施工合理化調査分析評価業務ダム技術センター・日本振興設計共同体  
電話：03-5815-4161
4. 契約適用法令：会計法第29条の3第4項及び  
予算決算及び会計令第102条の4第三号

### 5. 当該業務の目的・内容及び契約に付する理由

#### 1) 当該業務の目的

本業務は、ダム施工の合理化や新しい機械の導入による新技術の開発など、ダム施工を取り巻く近年の現場状況の変化に対応して、現場の実態に即した施工歩掛を算定するための基礎資料を得るため、実態調査を実施した結果のとりまとめや分析・評価を行うとともに、透明性、客観性、妥当性を確保したダム工事積算資料の改定案を立案する業務である。

#### 2) 業務の内容

- ・計画準備 1式
- ・データ集計 1式
- ・データ整理・確認 1式
- ・データ統計処理 1式
- ・データ分析評価 1式
- ・ダム積算資料改定案等作成 1式
- ・ダム工事積算資料に関わる課題抽出及び対応方策案の検討 1式
- ・報告書作成 1式

#### 3) 契約に付する理由

本業務の契約方式は、技術提案の公募を行い、提案のあった内容を総合的に評価し、契約の相手方を特定するプロポーザル方式である。

参加可能業者が最低20者あることを確認の上、技術提案書の提出を公募したところ、申請期間内に電子入札システムを通じ業務説明書を16者が入手（ダウンロード）し、1者から参加表明書及び技術提案書が提出された。

建設コンサルタント業務等請負業者選定事務処理要領及びプロポーザル方式による建設コンサルタント等の特定手続きにより技術提案書を審査した結果、契約の相手方は、本業務を遂行するために必要な配置予定技術者の資格及び実績等、配置予定技術者の成績及び表彰、実施方針及び特定テーマに係る技術力を備えていると判断される。

特に特定テーマの「施工状況が変化（コンクリート二次製品の使用、施工仕様の変更等）している収集データに対応した、歩掛の新規作成や現行改定にあたっての留意点について」に対する技術提案について、着眼点、問題点、解決方法等が理論的に整理され、提案内容を裏付ける業務実績が十分に示されており、総合的に優れた提案が行われていたものである。

よって、会計法第29条の3第4項及び予算決算及び会計令第102条の4第三号により、上記契約の相手方と契約を締結するものである。

(契約理由書作成者)

河川部 河川工事課長